

平成 30 年度秋期

スーパーバイザー士筆記試験

平成 31 年 1 月 16 日 (水) 実施

13:30~14:30

3. 財務・問題解決

(該当講義 講義③、⑥、⑦)

答案作成上の注意

- ◇ 解答用紙の所定の欄に氏名を記入してください。
- ◇ 係りの合図があるまではこの表紙をあけないでください。
- ◇ 解答は解答用紙に記入してください。
- ◇ 試験時間は 60 分です。
- ◇ 試験開始後 30 分で退出できます。
- ◇ 退出される際には、出入口にいる事務局員に解答用紙を提出してください。
- ◇ 再入場はできません。



一般社団法人

日本フランチャイズチェーン協会

【問題 1】 配点 20 点 (各 2 点)

次の①～⑩の取引から解答用紙の貸借対照表と損益計算書を作成してください。特に記述のない場合には、それぞれの取引は現金で行ったこととします。なお、解答にあたっては数字の単位に十分気をつけること。

- ① 当社は 01 年 4 月 1 日に資本金 10,000 千円で設立しました。決算期は 3 月 31 日です。
今期の事業年度は 01 年 4 月 1 日～02 年 3 月 31 日 (以下、「今期」という)
- ② 今期の売上高は 100,000 千円であり、このうち 10,000 千円は未回収 (売掛金) です。
- ③ 今期の仕入高は 30,000 千円であり、このうち 6,000 千円は未払い (買掛金) です。
- ④ 02 年 3 月 31 日に商品の棚卸しを行った結果、仕入金額ベースで 500 千円分ありました。
- ⑤ 今期の役員・従業員に対する給与は総額で 36,000 千円でした。
- ⑥ 01 年 4 月 1 日に金融機関から 20,000 千円借入れをしました。返済期間は 7 年です。
今期の元本返済額は 5,000 千円であり、今期はこの元本返済の他に支払利息 600 千円を支払いました。
- ⑦ 固定資産 (器具備品) の購入価額は 25,000 千円であり、01 年 4 月 1 日から事業用として使用しています。
- ⑧ 上記⑦器具備品の耐用年数は 10 年 (定率法による償却率は 0.20) です。定率法により今期の減価償却費を計算してください。
- ⑨ 今期に支払った家賃は 6,000 千円でした。
- ⑩ その他今期の諸経費として 20,000 千円支払いました。

貸借対照表 02年3月31日現在

科目	金額 (円)	科目	金額 (円)
現金		買掛金	6,000,000
売掛金	10,000,000	長期借入金	
商品	500,000		
器具備品	25,000,000		
減価償却累計額△	5,000,000	資本金	10,000,000
器具備品差引残高		経常利益	
資産の部計		負債・純資産の部計	33,900,000

損益計算書 (01年4月1日～02年3月31日)

	金額 (単位:円)
売上高	100,000,000
仕入高	30,000,000
期末商品棚卸高	500,000
売上原価	
売上総利益	
	販売費及び一般管理費
役員報酬・給与手当	36,000,000
地代家賃	6,000,000
減価償却費	
諸経費	20,000,000
販売費及び一般管理費計	67,000,000
営業利益	
支払利息	600,000
経常利益	

【問題 2】 配点 20 点 (各 2 点)

次の記述が正しい場合は○を、間違っている場合には×を解答欄に記入して下さい。

1. 法人税とは、法人の収入に対して課される税金であり、一般的に収入金額が多いほど法人税額は増加する。
2. 法人税の確定申告期限は、原則として決算日後 2 ヶ月以内となっており、本店所在地の所轄税務署に申告を行う。
3. 減価償却とは、使用することによってその価値が減少する資産の取得価額をその使用可能期間に費用配分する計算手続きである。主な減価償却対象資産は、有形固定資産としては、建物、器具備品、車両運搬具などがあり、無形固定資産としては、ソフトウェアなどがある。
4. 売上高から売上原価を差し引いた利益のことを売上総利益といい、売上原価は次の計算式により算出することが可能である。

$$\text{売上原価} = \text{当期仕入高} + \text{期首棚卸高} - \text{期末棚卸高}$$

5. 法人の課税事業者は、課税期間の末日の翌日から 2 カ月以内に消費税及び地方消費税の確定申告書を提出し、消費税を納付しなければならない。
6. 2018 年 6 月 1 日に商品を 800,000 円分仕入れ、そのうちの一部を 2018 年 6 月 20 日に 1,000,000 円で売り上げた。6 月末商品棚卸高は、300,000 円であり、6 月の月初商品棚卸高は 400,000 円であった。2018 年 6 月中の取引がこれらの取引のみであった場合、2018 年 6 月次の月次売上総利益は 200,000 円となる。
7. 土地は、固定資産なので減価償却計算の対象となるが、減価償却計算をしないことも可能である。
8. フランチャイズ契約時にフランチャイザーがフランチャイジーから収受する加盟金や契約金でフランチャイザーがフランチャイジーに対して返金する必要のない金銭 500 万円がある。この加盟金 500 万円のフランチャイザーにおける会計処理は、原則として 5 年間に渡り毎年 100 万円ずつ収入に計上しなければならない。なお、フランチャイズ契約期間は 5 年間である。
9. 青色申告制度とは、複式簿記による帳簿を整備することなど、事業者側に充実した経理体制を整備することを条件に、税法上様々な特典が与えられている制度であり、個人事業主だけでなく、法人にも同様の制度がある。
10. 消費税とは、法人の所得に対して課される税金である。

計数管理の知識

【問題 3】 配点 18 点 (各 2 点)

次の文章を読み、正しいものに○、誤りのあるものに×を記入してください。

1.	総資産経常利益率は運用している総資産でどの位の経常利益を生み出したかを示す
2.	総資産回転率を高めるためには、総資産の増加が必要になる
3.	借入金を繰上返済し支払利息を低減すれば、売上高営業利益率を高めることができる
4.	遊休資産を有効活用し、売上高向上を図ることができれば固定資産回転率は高くなる
5.	損益分岐点比率が 100%を超えると、損失が発生していることを意味する
6.	損益分岐点の引き下げは、変動費率と固定費の引き下げにより実現できる
7.	当座比率は、当座の支払能力を示す指標で 100%以内が理想とされる
8.	固定比率は、長期に運用される固定資産を、純資産でどの程度賄えるかを見る指標であり、100%を超えることが理想とされる
9.	自己資本比率向上は、収益性を改善し利益を上げて内部留保を図ることで実現できる

【問題 4】 配点 12 点 (各 3 点)

下表はメガネ店を運営するフランチャイズ加盟店の月次損益計算書です。次の文章の空欄に適切な記号(大文字のアルファベット)を語群より選択し解答欄に記入してください。

項目		金額(千円)	構成比
売上高		3,500	100.0%
売上原価		1,000	28.6%
売上総利益		2,500	71.4%
販売費・一般管理費		1,980	56.6%
販管費の内訳	人件費	700	20.0%
	水道光熱費	80	2.3%
	販売促進費	400	11.4%
	減価償却費	200	5.7%
	地代家賃	400	11.4%
	その他(ロイヤリティ含む)	200	5.7%
営業利益		520	14.9%

当店の損益分岐点売上高は、売上原価を変動費、販売費・一般管理費を固定費とすれば (①) になる。したがって、損益分岐点比率は (②)、安全余裕率は (③) である。固定費及び変動費率に変化がない前提で、営業利益 1,000 千円を達成するためには、目標売上高は (④) が必要になる。

A.3,498 千円	B.2,773 千円	C.79.2%	D.99.9%
E.20.8%	F.0.1%	G.5,265 千円	H.4,174 千円

問題解決手法

【問題 5】 配点 2 点

問題にはいくつかの型がありますが、以下の記述で正しいものを選びなさい。

- ア) 発生型問題とは、現状をもっと良くしたいというところから生じる問題である。
- イ) 探索型問題は、原因志向型問題とも呼ばれている。
- ウ) 設定型問題とは、現在設定している目標との差異が生じた場合の問題を指す。
- エ) 未達問題は、発生型問題のうちのひとつのパターンである。
- オ) 回避問題は、発生型問題のうちのひとつのパターンである。

【問題 6】 配点 4 点

問題を把握するために必要なものはどれか、以下から選びなさい。

- ア) あるべき姿（目標）
- イ) 原因
- ウ) 現状
- エ) 課題

【問題 7】 配点 4 点

MECEになっていないのはどれか？

- ア) 飲み物は、ノンアルコール飲料とアルコール飲料に分解できる。
- イ) 飲み物は、清涼飲料と炭酸飲料に分解できる。
- ウ) 飲み物は、お酒と炭酸飲料に分解できる。

【問題 8】 配点 4 点

定量的に分解する場合、間違っている式はどれか？

- ア) 売上高 = 客数 × 客単価
- イ) 営業利益 = 売上総利益 - 固定費
- ウ) 売上総利益 = 売上高 - 変動費

【問題 9】 配点 2 点

問題を絞り込む方法について、以下の記述で正しいものはどれか？

- ア) 時系列や他店との比較は、絞り込む際の視点として有効である。
- イ) 自店の問題なので、競合や他店との比較はあまり有効ではない。
- ウ) KPIは、大企業には有効だが、中小のチェーンにはあまり役立たない。

【問題 10】 配点 4 点

原因究明について以下の記述で正しいものはどれか？

- ア) 原因は問題を裏返すことで容易に究明できる。
- イ) 3C分析は、原因究明のフレームワークとして有効である。
- ウ) 原因を絞り込む際には、以前と比較して変化の大きい要素を特定することがポイントとなる。

【問題 11】 配点 4 点

発想法に関して、以下の記述で正しいものはどれか？

- ア) K J 法は、収束法の一つで設定されたテーマに対して解答を導き出すための手法である。
- イ) ブレーンストーミング法は、発散法の一つで出来るだけ多くのアイデアを出すための手法である。
- ウ) K J 法を開発したのは、オズボーンというアメリカの思想家である。

【問題 12】 配点 6 点 (各 1 点)

以下の文章の空欄に正しい言葉を語群から選び、記号を記入しなさい。

問題解決を図るうえで、解決策をいくつか列挙した中から優先順位の高いものを選択する際には、リスク、(①)、実現可能性、(②)、(③) をそれぞれ評価して絞り込んでいきます。
チェーンとして、問題解決のノウハウ化を進めるためには、問題解決のプロセスと (④) を記録に残し、(⑤) にかかわらず (⑥) 情報共有を行う体制を整備することが重要です。

ア.結合改善	イ.成果度合い	ウ.成果	エ.コストバランス	オ.アウトプット
カ.信用度	キ.スピード	ク.インプット	ケ.成功・失敗	コ.大・小
サ.個別に	シ.取り組み	ス.組織的に		